



▲駅から途切れた点字ブロック

議員 点字ブロックには樹脂素材で貼り付けるタイプもあり、積極的な整備を進めるよう要望する。また、市役所内のエレベーター入口まで誘

議員 視覚障がい者誘導用ブロック(点字)は、視覚障がい者の歩行手段を変えずに誘導させることができる有効的な設備である。視覚



議員 視覚障がい者誘導用ブロック(点字)

### 視覚障がい者誘導用 ブロックの設置促進を 「一時的な対応も含め検討していく」

本田 哲議員

障がい者の安全かつ快適な移動を支援するため、公共交通乗降場所まで点字ブロックが設置されている戸田公園駅西口ロータリーを本に、3駅での設置状況を統一させるべきではないか。  
都市整備部長 他の駅前広場は本格整備の中で正式に設置をしていくが、一時的な対応も含め検討する。

議員 点字ブロックには樹脂素材で貼り付けるタイプもあり、積極的な整備を進めるよう要望する。また、市役所内のエレベーター入口まで誘

導する点字ブロックは、車いす使用者にはバリアとなる。改善すべきではないか。  
財務部長 現在の整備基準に合わせ改善する。

障がい者の「toco」バス運賃引き下げは

議員 昨年12月議会で「検討する」とのことであった。検討結果は。

市民生活部長 タイムスケジュールとして、今年度の東循環新路線の運行後、西循環の路線見直しに合わせ具体的な検討を行う。2年は要すると考えている。



望月 久晴 議員

## アスファルト製造工場の 悪臭対策の進展は

「12月から脱臭装置の設置工事を行う」



▲対策が施されるアスファルト製造工場

議員 東循環を東西2系統に分ける見直しが行われているが、時計方向周りのため利便性の向上につながっていない。双方向運行で南北2系統にできないか。  
市民生活部長 東西2系統に分ける見直しが進んでいるので、現時点で南北2系統にすることはできない。次の見直しの参考としたい。

tocoバスの見直しは双方向運転で

議員 平成21年9月議会で取り上げたアスファルト製造工場の悪臭対策のその後は。  
市民生活部長 今までの対策が十分でなかったため、工場では12月から数億円かけ廃ガス燃焼方式による脱臭装置の設置工事を行う予定である。

議員 6月議会で出された入札議案の最低制限価格の決定過程が不透明。春日部市のように入札有効札の平均額の90%を乗じた額とするなど、公正性と透明性を高めるべきでは。  
財務部長 本市では最低制限価格の算定方法を非公表としている。国・県の動向を踏まえて適正に設定している。

議員 健康長寿入浴事業は、市西部地区の高齢者には利用が困難であり、不公平である。不公平感を解消するべきである。  
議員 ①健康長寿入浴事業は、市西部地区の高齢者には利用が困難であり、不公平である。不公平感を解消するべきである。

国税局喜沢南寮跡地を市で取得を

議員 国税局喜沢南寮は24年3月で使用が終わる。公共施設用地として市で取得しては。

建設工事等の入札制度は公正性と透明性を

三浦 芳一 議員

## 深刻な“児童虐待” 安全確認の対応強化急げ

「通告後48時間以内に安全確認を」



議員 過去3カ年の虐待件数の推移

こども青少年部長 虐待取り扱い実件数は19年度46件、20年度37件、21年度37件である。

議員 深刻化する児童虐待、本市での現状と通告状況は。新生児訪

問事業、親子ふれあい広場事業、産前産後支援ヘルプサービス事業などの充実により、早期発見と安全確認の対応強化を急げ。

議員 地域の元気な高齢者(有償ボランティア)と協働で、見守り体制のさらなる充実を。  
福祉部長 仕組みづくりができるか研究する。

こども青少年部長 要保護児童対策地域協議会で適切な対応と、虐待の兆候が発見された場合や通告があったら関係機関と連携をとり48時間以内に児童の安全確認のため現地訪問や家庭訪問を今後も引き続き実施する。  
高年齢者の見守り対策 緊急電話の設置促進を

議員 65歳以上の人数と単独世帯・100歳以上は。孤独死を防ぐためにも緊急電話の促進を図れ。



▶子どもたちの明るい笑顔

福祉部長 1万6982人で、うち3877人が単独世帯、100歳以上は23名。緊急電話の促進については、啓発・周知を徹底する。

一般質問

## 荒川の洪水対策のその後

「行政・民間との協力で災害対策を進める」



議員 ①荒川破堤時には短時間で戸

少ない。避難路の確保を含め、災害協定の締結に向けて検討する。  
②学校等公共施設及び民間施設とも協議し、避難所の活用に取り組み。

③荒川洪水時に一人の犠牲者も出さぬよう、各町会とひびを交え、住民版地域防災計画の協議と対応を行う。

長寿入浴事業に代わる事業を

議員 ①健康長寿入浴事業は、市西部地区の高齢者には利用が困難であり、不公平である。不公平感を解消するべきである。  
②西部

議員 ①健康長寿入浴事業は、市西部地区の高齢者には利用が困難であり、不公平である。不公平感を解消するべきである。

芝生の緑がまぶしい荒川水循環センターの上部公園



中名生隆 議員

地域の対象者にアンケートをしてはどうか。

福祉部長 ①高齢者の利用機会の確保は図られている。西部地区の利用者も増加しており、新たな負担を伴う事業の新設は困難である。

②地域を限定したサービスの提供を前提としたアンケートは、平等性・公平性に問題があり、考えていない。